

個性を考慮して行動変容を支援するソフトウェアの開発

— 動機づけ機械学習サービスと3つの導入事例 —

坂本一憲・西本航・笠原レミン
(WillBooster株式会社)、
諏訪雄哉(早稲田大学)



- ユーザの個性を踏まえ、動機づけ効果の高い情報・文言を推薦する
- 例: ユーザごとに「昨日、君と同じタイプのユーザは10問を問いたよ。君も解こう!」「昨日は5問解いたね。今日は6問解こう!」等から選択

3種類のソフトウェアへの導入実績

1) WillBooster社の反復学習アプリWillStudy(目標画面の選択)



絶対的目標



個人的目標



相対的目標

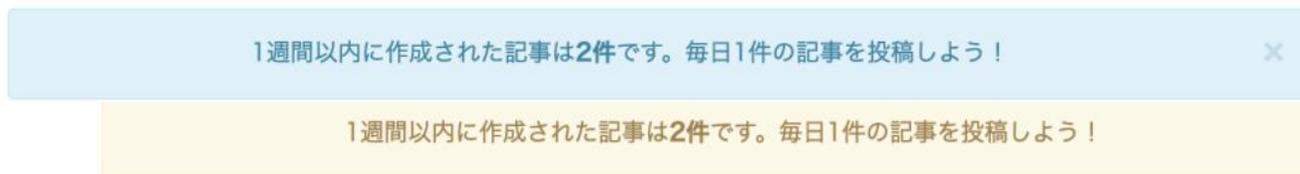
選択例) 競争心が強いユーザには、他者との比較情報が含まれている相対目標を選ぶ

2) 東京大学 開研究室の英語学習アプリCloze Test(通知文言の選択)



文言に加えて、通知の送信時刻もユーザごとに最適化

3) ホスティングサービスで記事の投稿を促す施策(文言・色の選択)



文言に加えて、色や文言の表示時間も最適化